

あしたの風

第 101号

—— 秋 田 市 の 生 涯 学 習 ——

令和 7 年 9 月 発 行
編集発行 秋田市教育委員会
生涯学習室



夜空に揺らめく黄金の稲穂
～秋田竿燈まつり～

☆☆ 中央地区 ☆☆

生涯学習と歩んで

中央地区生涯学習奨励員会
副会長 加賀谷 ユウ子

一九七〇年秋田県に生涯教育のプロジェクトの検討が始まった年、私は県の教育庁に勤め始めた。つまり現在の生涯学習が産声を上げたと同時に私も社会へ飛び出したことになる。それから十数年後、子どもの小学校のPTAの先輩に誘われて生涯学習奨励員となった。実に四十年程を経て現在に至っている。当初から先輩の後ろについて、わりとまめに行事に参加し、次第に人と交わることの楽しさを知っていった気がする。

二足のワラジだった公民館活動。泊まりがけの全県公民館大会や公民館まつりでのバザーの開催など実に活発に活動した思い出がある。奨励員一本になった後、県の奨励員も兼任し、さらに多くの奨励員と交流する機会を得た。全県各地区での特色ある活動が活発に行われていることを知るにつけ、大いに刺激を受け、また発見もあった。わずかずつではあったが人生の巾が広がっていったような気がする。特段人に教えられるような特技も無い私に出来ることは、多くの人と交流することの楽しさを身をもって伝えること、そのような場所づくりを企画することが私に与えられた役割と思っている。



多くの方と交流

ここ最近楽しみながら参加している事業や企画中のイベントを二、三紹介してみたい。一昨年、昨年と続けている地域講座「みんなで歌おうフォークソングと日本の歌」。大きな声でなつかしい歌を歌うことは大いにリフレッシュできる。また就学前の子ども達とお母さんと一緒に学んだり、遊んだり。大学生と交流しながら一つの講座を企画したり、等々。生涯学習奨励員なればこそできる経験である。今少し老化に抗って、生涯学習と共に歩んでいたいと思っている。



大きな声で歌ってリフレッシュ

☆☆西部地区☆☆

子猫に導かれて

白華（はつか）の家

代表 今 中 真 琴

私は現在、まだ東京の自宅と秋田を行ったり来たりの生活をしています。夫は長年単身赴任状態で秋田駅近くの貸家で生活していました。ところがおよそ三年前の吹雪の夜に、夫が子猫を保護したことをきっかけにペットと暮らせる家を探し始め、十二軒目に豊岩の家に出会いました。その決め手は、まずはとても素晴らしい木材を使って建てられた家であったこと、素晴らしい自然環境、そして何より豊岩豊巻の皆様が明るく接してくださったことでした。現在、人口減少などにより主に首都圏からの移住を推進していますが、結局のところ、人々との心の触れ合いが大事になってくると思います。その点では本当に幸運であったと感謝しています。

話は変わりますが、生涯学習と言うとどうしても退職後の学びというイメージがありますが、逆に子供達や若い世代へ指導やサポートという視点でも活動できるのでは、と考えています。皆さんそれぞれ何かしら得意なことや好きなことが多少なりともおありではないでしょうか？

例えば私は、豊岩に来て野草に興味を持ちま

したがまだまだ不勉強で「食べられる植物」などを教えてくださる交流会の開催など「世代を超えて皆で学び、交流する。」そのような機会が増えると有り難いです。また私の本業は声楽家で長年合唱指導をして来しました。

私も今年六十歳、還暦です。残りの人生、自分自身の存在意義といえど大袈裟ですが、誰かの役にたつて地域に貢献し仕事を続けたいという思いがあります。秋田でも活動できる機会があれば嬉しいです。

最後に、昨年末泊「白華（はつか）の家」をオープンしました。地域に開かれた施設を目指していますのでご興味があれば是非お問い合わせください！



白華の家 リビングの様子



秋田公立美術大学 大学院生の作品展示

☆☆ 東部地区 ☆☆

すき間植物

東部地区生涯学習奨励員会

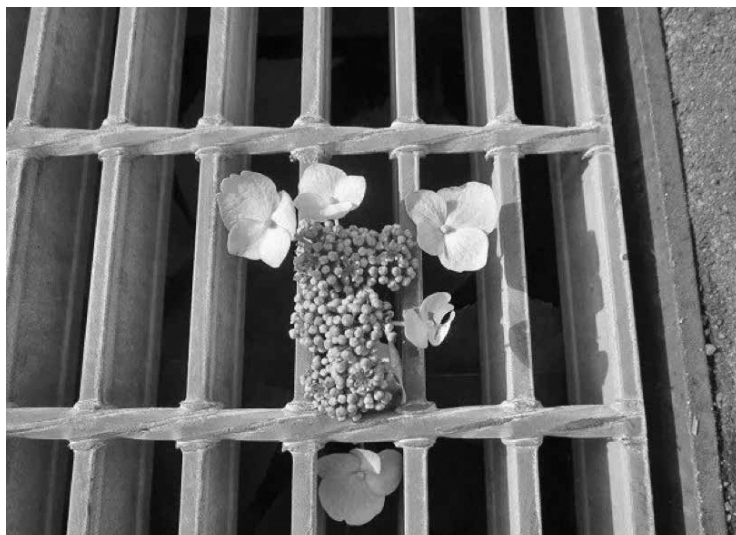
会員 粉山 宏二

朝夕、毎日のようにワンコと散歩を続けて四半世紀。ワンコと歩きながら、楽しみの一つがすき間植物の観察。（すき間植物：アスファルトやコンクリート等のすき間に根を下ろし頑張っている植物。と、勝手に定義）

普段、意識もせず通る道でも、ちょっと注意を払って探してみると、意外な植物たちが意外な場所に生えているのに出会う事がある。そんな時、頭の中には「なぜ、あなたは此処に？それが此処に連れてきたの？本当に此処で生きていけるの？等々」たまたま見つけた一本の小さな植物に、沢山の疑問とそれについての推測・想像・妄想があふれ出す。

すき間植物と付き合うようになって、十数年。こんなことに興味を持っているのは、自分位しかいないと思ひ込み、いずれは写真をまとめて本にでも・・・と考えていたが「すき間の植物図鑑」という本を書店で発見。内容は自分がやっていることと、ほぼ同様というよりそれ以上（当然だが）のため、早々断念。奨励員企画事業で「すき間植物観察会」を提案しようかと考えてみたが、対象物の不安定要素（人為的撤去や植物の寿命等々）を考慮した場合、参加者を募ってま

で行う内容でもない判断。
すき間植物観察は、今まで通り一人で楽しみながら続けるのがいちばんという結論になった、今日この頃でございます。



側溝植物アジサイ



縁石のフキノトウ

☆☆南部地区☆☆

地域間交流と活性化に挑む

南部地区生涯学習奨励員会
会員 鈴木 捷 策

地域の子どもからお年寄りまで、住民の交流と活性化を目的に活動している「四ツ小屋地域づくり協議会」を紹介します。

地域振興会と町内会から選任されたメンバー等で発足して七年目になります。

野菜作りの盛んな旧四ツ小屋と隣接する大消費地の御野場との利点を活かし、元小学校跡地の城下当場公園を利用した「せせらぎ市（ファーマーズマーケット）」が最大の事業です。

年に十回程度の開催で新鮮な朝採り野菜の直売ばかりでなく、季節により特徴のある行事を組み合わせ、販売事業として「お盆の花」、「新米まつり」、「よつこや秋まつり」など、体験事業としては「きりたんぼ作り」、「なべっこ体験」、「焼き芋まつり」、「枝豆まつり」、「街角キャンプ（宿泊）」など、また両事業を組み合わせたユニークな「畑でマルシェ」も行いました。

さらに、秋田南消防署のご協力での消火訓練、日赤秋田県支部のご協力での防災イベント、子どものゲーム遊び、菜園の無料貸出、毎回のコーヒーマスターの無料サービスなど様々な企画も加え、沢山の人が集まる賑わいの場となっています。

チラシの作成と配布、テント、音響設備など

資金面では秋田市地域づくり交付金を活用し盛大な事業を推進しています。

また、会報「元氣づくり」を発行し、地域内の各種行事や活動内容を紹介し地域の情報源にもなっています。

地域の未来を語り合う「四ツ小屋シンポジウム」の開催、将来的には常設市場の建設など、地域産業の振興も視野に入れ明るく活気ある未来に向かって挑んでいます。



「せせらぎ市」きりたんぼのサービス



「せせらぎ市」野菜の販売

表彰者紹介

令和七年度

秋田県生涯学習奨励員協議会表彰

館岡直子(中央) 鎌田 悟(土崎)
佐藤真知子(西部) 相原 和子(西部)
伊藤キヨ(西部) 菅原 誠悦(東部)
池田チヅ子(東部) 佐藤 敦子(河辺)

令和七年度

市の記念式典における表彰

館岡直子(中央) 鎌田 悟(土崎)
佐藤真知子(西部) 相原 和子(西部)
菅原 誠悦(東部) 池田 チヅ子(東部)
佐藤 敦子(河辺) 佐々木 みどり(河辺)

右記の方々が表彰されました。

おめでとうございます。

今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

※敬称略



編集後記にかえて

応援見守ってくれていた自慢の母親が施設に入所して間もなく一ヶ月。

入所の方々と楽しく過ごしているとの連絡に安堵と嬉しさで久々の眠り。

誰もが通る「老い」少子高齢化が加速する中、信じがたい事案が急増、生き方は自由であっても、一人ひとり相手を「思いやる」、「ルールを守る」、「何か行動を起こす前に立ち止まる」、とても大切な事だと思っています。

被害者、加害者の減少願い、世の中が少しでも平和になる事願い、新メンバーと出来ることを頑張っていきたいと思っています。

「一つしかない大切な命、考えよう。」

(石塚)



編集委員

(秋田市生涯学習奨励員)

柿崎 忍(中央) 吉田 弘子(土崎)
佐藤 清子(西部) 高橋 多美子(東部)
塚田 朋子(南部) 鎌田 礼子(北部)
石塚 小枝子(河辺) 佐藤 祐子(雄和)



『あしたの風』第百一号

発行年月

令和七年九月

編集発行

秋田市教育委員会生涯学習室
秋田市山王一丁目一番一号

電話 〇一八—八八八—五八一〇

この広報誌は

発行部数 一、〇〇〇部

配布方法 無料配布